

農林水産省

九州農政局要覧

Kyushu Agriculture Administration Office



農林水産省
九州農政局

九州農政局について

九州農政局は、食料の安定供給の確保、農林水産業の発展、農林漁業者の福祉の増進、農山漁村及び中山間地域等の振興、農業の多面にわたる機能の発揮という農林水産省（林野・水産分野を除く）の任務を達成するため、九州7県（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島）の地域における農政（食料・農業・農村に関する政策）を担当する地方支分部局として設置された国の行政機関です。

九州では、温暖な気候や多様な地勢を活用した園芸・畜産が盛んです。我が国の基幹品目である水田での稲・麦・大豆のほか、バラエティ豊かな多様な農業の展開により、全国の1割の耕地面積において、2割の農業産出額をあげており、その仕向けは域内の消費のみならず、関東・関西方面への農産物供給を担う食料供給基地となっています。

また、我が国が人口減少時代に突入する中、地域内の面積の13%※を占める離島や山間の農村においては、農村の活力の維持・増進、都市の住民や経済との結びつきを強めていくことが喫緊の課題となっています。

農林水産省では、強い農業を育成する産業政策と、美しく活力ある農村づくりのための地域政策を車の両輪として政策を推進していますが、九州農政局は、管内の消費者・生産者の皆様はもとより、各県・市町村や他の国の機関等とも連携しながら、九州農業の強みの一層の推進と、離島・山間地を含む農村地域の活性化に取り組んでいます。

※ 国土地理院「平成25年全国都道府県市区町村別面積調」をもとに九州農政局で計算。

九州農政局の沿革	
昭和38年	全国7カ所に農林省が「地方農政局」を設置。 九州農政局は熊本市内二の丸庁舎に配置。 総務部、農政部、構造改善部、計画部、建設部の5部制。
昭和45年	農林水産統計業務を編入し、統計調査部を新設。統計調査事務所を農政局の出先機関とする。
昭和47年	構造改善部を廃し、生産流通部を新設。統計調査部を統計情報部、統計調査事務所を統計情報事務所に改組。
平成13年	中央省庁再編に伴い、内部組織を、総務部、企画調整部、生産経営部、農村計画部、整備部、統計情報部の6部に再編。
平成15年	食糧庁・食糧事務所を廃し、食糧部を新設。各県に地方農政事務所を設置。企画調整部と生産経営部を再編し、消費・安全部と生産経営流通部に改組。統計情報部は、統計部、統計情報事務所は、統計・情報センターに改組。
平成23年	熊本市二の丸から、同市西区春日の合同庁舎に移転。 組織再編に伴い、総務部、消費・安全部、生産部、経営・事業支援部、農村計画部、整備部、統計部の7部制に再編。 地方農政事務所と統計・情報センターを統合し地域センターを設置。
平成27年	組織再編に伴い、農村計画部と整備部を統合し農村振興部を設置。 地域センターを見直し、県庁所在地に拠点を設置。農政局長直属の地方参事官を配置。

九州農政局の機構

